

山形市

野草園だより

37号



シンボルマーク
原画 阿部功雲氏

野草園の自慢のひとつに「野草の丘」の広い芝生があります。年間を通して約1000種類もの花々が次々に咲く本園ですが、そのきれいな花を見たあと、芝生の上でゆっくり休むことができます。写真は幼稚園と保育園のグリーンキッズのみんなが350人ほどおいでになった時の昼ご飯の様子です。園内を散策したあと、楽しそうにぐっすり休んでいます。山形市街よりも気温が3～4℃位は低いので、暑い夏でもさわやかに過ごすことができます。走りまわったり、ごろごろところげ回ったりして芝生の感触を楽しむこともできます。大人の方では、本を片手に寝っころがって読んでいる人もいます。花を楽しむことはもちろん、いろいろの楽しみ方ができる野草園です。

夏から秋に咲く



ビロードトラノオ (ゴマノハグサ科)
葉の両面にビロードのような毛が生えています。



アサザ (ミツガシワ科)
池や沼に生える水草で、午前中に花を開き午後にはしぼみます。



カリガネソウ (クマツヅラ科)
全草に臭気があり、花の形が雁(かりがね)に似ています。



オオバショウマ (キンポウゲ科)
茎の先に白い小さな花をたくさんつけます。



オミナエシ (オミナエシ科)
オトコエシよりもやさしく、黄色い小さな花をたくさんつけます。



イヌハギ (マメ科)
多数の白色の蝶形花をつけるハギです。

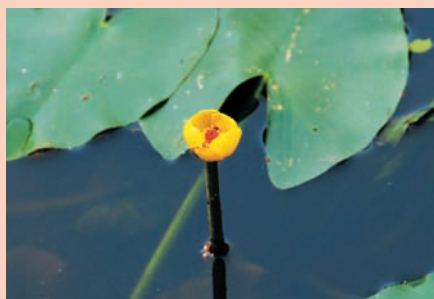


キキョウ (キキョウ科)
秋の七草のアサガオはキキョウのことだといわれています。



アケボノソウ (リンドウ科)
花の色を明け方の空に、斑点を夜明けの星空に見立てました。

絶滅危惧種の花々たち



オゼコウホネ (スイレン科)

オゼ(尾瀬)に咲くコウホネ(河骨)の意味です。



ヤナギラン (アカバナ科)

葉の形がヤナギに似て、花がランのように美しい。



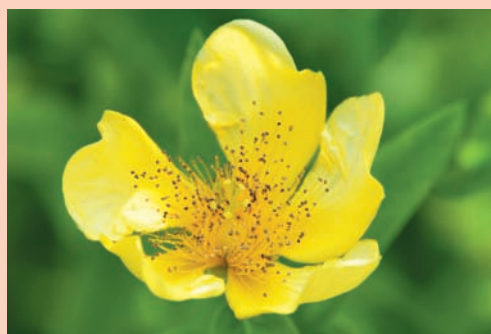
キレンゲショウマ (ユキノシタ科)

茎の先にレンゲショウマに似た花を開きます。



フジバカマ (キク科) と **アサギマダラ** (チョウ)

秋の七草のひとつで、アサギマダラとなかよしです。



トモエソウ (オトギリソウ科)

名はトモエソウ(巴草)で、花の形に基づきます。



リンドウ (リンドウ科)

秋の山を代表する花で、根は薬にもなります。



マツムシソウ (マツムシソウ科)

高原の秋に咲く代表的な花です。



カキラン (ラン科)

柿色をしている蘭なので、カキラン(柿蘭)です。

絶滅危惧種とは

急激な環境変化や乱獲などにより絶滅危惧ないしは減少傾向にある野生植物です。



自然のたくみさ・ふしぎさ



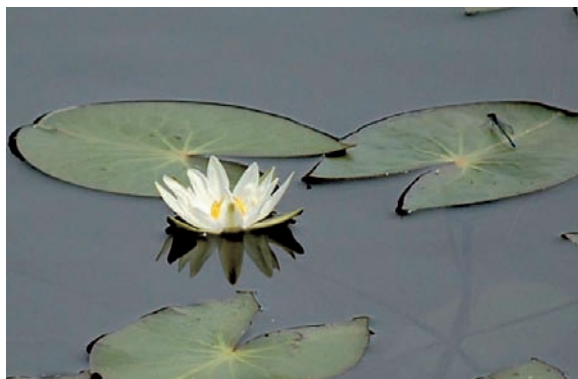
● ● ● 水面に浮かぶ丸い葉 ● ● ●

野草園の中心部にある大平沼そのかたわらにある水辺の花のコーナーで毎朝早くから花を咲かせ、昼には花を閉じるアサザ。そのアサザが閉じ始める頃、隣の大平沼でようやく花を開き始め、未の刻（午後2時ごろ）精一杯に開き夕方に閉じるヒツジグサ、それに浮き袋をつけたトチカガミがあり、楕円形の葉に切れ込みの無いジュンサイも水面を覆っています。これらの植物の特徴を少し観てみたいと思います。



・朝早く開花するミツガシワ科のアサザ

アサザは「山形県版絶滅危惧野生植物」のランクでは野生絶滅となっている植物で、自然の中では見ることが出来ないとされています。野草園のものは尾花沢の研究者に分けて戴いたものです。この花は早起きで朝から花を開きますが、天気の良い日や昼を過ぎると花は閉じてしまいます。



・朝寝坊のスイレン科のヒツジグサ

それに対してヒツジグサはこの辺の湖沼群のどこの沼でも見られる一般的な水草ですが、朝寝坊で有名です。



・花の地味なスイレン科のジュンサイ

ジュンサイは、新芽と花芽はゼラチン質に包まれ高級食材として有名ですが、花は思いのほか目立たない地味なものです。これも西藏王湖沼群では一般的な植物です。最近スイレン科からハゴロモ科ジュンサイ属に分けようとする考えがあります。



・浮き袋のあるトチカガミ科のトチカガミ

同じ丸い葉を水面に浮かせるトチカガミですが、面白い事に葉の裏（写真右）の中央に浮き袋（気嚢）を持っています。この植物は「山形県版絶滅危惧野生植物」のランクで絶滅危惧ⅠB類となっていてこの辺ではほとんど見られません。

野草園内の夏から秋にかけて水面上に浮かんでいる丸い葉の植物のいろいろでした。

今年の春は嬉しいことがありました。村山農業高校の生徒さんたちが、課外授業の一環として野草園にオキナグサ、クマガイソウ、アツモリソウを持って来て植えてくださったのです。

オキナグサは、冬の間にネズミに食べられて6割も無くなっていました。また、アツモリソウは園内に無かったので新たに加わりありがたいと思います。ただ、アツモリソウは花が咲くまで3年にかかる見込みです。

クマガイソウは、今まであった場所とは別に、園の東部の杉林に植えていただきました。現在ここでも順調に育っています。

そこで考えたのですが、その隣接の杉林一帯にクマガイソウを増やしていったら、将来大きな群生地ができるのではないかな。そうなれば野草園の名所になるのではないかな、そうして来園者の方々に喜んでもらえればと考えております。

ヤマシャクヤク (ボタン科)

種子も花に負けないくらい見ごたえがあります。



ナナカマド (バラ科)

白い花のあと、秋の紅葉と赤い実が目立ちます。



植物 ウォッチング

～花のあとも楽しめます～

ヤマボウシ (ミズキ科)

実は甘酸っぱくて食べられます。



サンシュユ (ミズキ科)

ハルコガネバナ、アキサンゴの名のとおりです。



ガイドウォーキング 毎週日曜日



ミニSL運行



瀧山太鼓演奏

野草園の 主な催し物

ス

ナ

ッ

プ

ポニーとサラブレッド乗馬



ガーデニング教室



工作教室

主な催し【8月▶11月】

ガイドウォーキング	毎週日曜日
工作コーナー	8月の第1～第4日曜日
親子草花遊び	8月1日(土)
木の葉のしおり作り	8月8日(土)
木工工作教室	8月15日(土)
ポタニカルアート作品展	8月30日(日)～9月13日(日)
星空を見る会	9月12日(土)
蝶と花の観察会	9月19日(土)
山形まるごと市	9月21日(月)
ミニSL運行	9月22日(火)～23日(水)
秋の野草園祭り(オリエンテーリング、木工工作教室、野点、尺八演奏、餅つき大会、ガイドウォーキング)	9月23日(水)
四季観察会	9月26日(土)、10月24日(土)、2月21日(日)
工芸教室	10月10日(土)、11月7日(土)
きのこ写真展	10月10日(土)～25日(日)
植物観察ときのこ鍋	10月17日(土)
落ち葉たき	10月31日(土)
写真コンテスト入賞作品展	11月1日(日)～11月23日(月)
バードウォッチング	11月1日(日)
プリザーブドフラワー教室	11月17日(火)

●開園時間等

- ・開園時間
4月～5月 9:00～16:30
6月～8月 9:00～18:00
9月～11月 9:00～16:30
- ・休園日／毎週月曜日
ただし、月曜日が祝日・休日の場合はその翌日
- ・冬期間休園／12月～3月
- ・入園料
大人／300円
高校生以下は無料
団体割引(20人以上の場合)
大人／240円
高校生以下は無料

●交通案内

- ・JR山形駅より山形交通路線バス蔵王・野草園行き終点下車
- ・山形自動車道蔵王I.Cより蔵王高原ラインを蔵王温泉方面へ15分
- ・滝山小、東北芸術工科大学方面より岩波経由又は、市道三本木線経由で自家用車15分

